

# 「軍艦談義の会」

## -フリトウィーク参加記-

■山本 聡

昔の話となるが2010年頃、仮称「旧日本海軍軍艦談義の会」なるものが発足した。そのメンバーは会長清水さん、幹事安井皓一さん、会員小椋さんと山本である。会活動の中心行事は3年に1度開催される観艦式への乗艦参加とそのあとの軍艦談義会である。その他随時関連行事参加も行われた。2013年の所沢航空発祥記念館の零戦見学、2015年4月へり空母「いずも」完成一般公開見学、2015年7月横須賀米海軍ルフトシップデー見学などである。

これ以外の関連活動としては小椋さんが「昭和の日本海軍艦」として写真集をCDにまとめたことと安井さんの未完成の戦艦「陸奥」モデルの活用である。「陸奥」モデルは第2回「かたちの会作品展」に出展された物である。未完成のままだったがなんとかこれを生かしたいと考えた。ない知恵を絞って「昭和10年大改装中の戦艦陸奥」としてジグマに仕立てあげることとした。



● 2015年へり空母「いずも」が完成、横須賀基地で一般公開された。飛行甲板にて。



● 1/100モデル「昭和10年大改装中の戦艦陸奥」台座は5号ドックを建物・クレーンも含め再現。



● 2015年観艦式は抽選もれで乗艦できず観音崎で出航風景見学、背景は掃海母艦「うらが」



● 2015年組立て完了後の記念撮影。モデルの大きさが分るが台座は畳2枚を縦繋ぎしたサイズ。

1/100スケールの陸奥はすでに日本に2台存在する。今更時間と費用をかけて完成させてもそれほど希少性はない。未完成のままで見られしかし鑑賞にたえるスケールにするためには台座を横須賀5号ドックとし大改装中のジウマにすれば良いということである。ドックの形は直線構造なので割合簡単につくることができる。付随物として扉船、大型クレーン、クレーン線路、関連建物などが必要となる。ドック全体を前後に3分割し組立て式とした。陸奥スケールの運搬やジウマの組立てには市原さん竹田さんに応援してもらった。完成したジウマは横須賀市役所で展示された。現在は市役所で保管中である。

観艦式への参加は2012年までで、2015年は抽選もれで観音崎からの参加となった。2019年は4年ぶりの開催であったが式そのものが災害対策の為中止となってしまった。そして2022年の式はコロナの影響が残り一般乗艦者はなしということになってしまった。その代わりとして停泊港での一般公開であるフリーウィークが充実されることとなった。観艦式前に横須賀港、木更津港、横浜港（おおさんばし、山下埠頭、新港埠頭）およびお台場で参加艦が一般公開された。参加艦の目玉としては空母化された「いずも」、新鋭のミサイル艦「くまの」、新型のミサイル潜水艦「たいげい」

などであった。軍艦談義の会としては観艦式前日のおおさんばしの「くまの」見学をねらうこととなった。当日の公開は9時からだったが整理券をその前に配布ということで20分前にそこにいったが、なんと整理券配布はとくに終わったということ。がっかりしたが、殺風景なミサイル艦装備、また艦橋室はもとも見れない、などとあきらめ、午後おそくから軍艦談義を行うこととなった。しかしそこで各停泊艦は翌日の式にあわせ準備のため随時出港するとの情報がはいった。ありがたいことに出港光景や動く艦の姿を見ることができたわけである。おおさんばし先端に陣取り写真撮影もよいものが撮れた。

私はこの日以外にも単独行動でフリーウィーク見学を行った。10月29日横須賀、11月3日横浜港、そして前述の11月5日軍艦談義日横浜港である。これらで停泊艦のすべてに乗艦し、写真撮影を行った。「いずも」は横須賀とおおさんばしの両方で乗艦した。

以降撮影写真の一部を示し海自の現状を理解、楽しんでもらえたらと思います。



● 今回の軍艦談義で清水さんから提示された昭和18年横須賀軍港写真、各艦名も分るとか。



● フリーウィーク乗艦者には御朱印ならぬ護衛艦朱印が配られる。艦ごとに判形が工夫されている。

艦船の写真撮影は小椋さんの方が私より上手だが、今回は小型カメラにしていた。望遠レンズは必需品といえ重いので手持ち撮影にはむかない。私のカメラは古くて重いのもはや時代おくれといえよう。

カメラのピント合わせやブレ防止も手持ちでは難しくむしろ小型カメラのほうが適しているのだろう。今やスマホのほうがいい写真が撮れる時代なのかもしれない。



●横須賀では戦艦「陸奥」主砲と空母「いずも」のツーショットが撮影できた。



●ヘリ空母「ひゅうが」の昇降機での撮影だが空母乗艦では最大の見せ場。



●各護衛艦艦載のSH-60Kだが性能向上型改造1号機が岸壁に飛来お披露目展示された。



●輸送艦「くにさき」の艦尾には輸送用エアクション艇エルキックが搭載されている。



●山下埠頭停泊のイージス艦「あたご」とステルス艦「もがみ」横並びでサイズのちがいが良く分る。



●おおさんばし、上甲板改造の空母「いずも」。ここで富士山の写真を撮っているのは私だけ。



●ステルス艦「くまの」舷側は完全な単一平面のようだが塗装が異なるのか2色に分かれている。



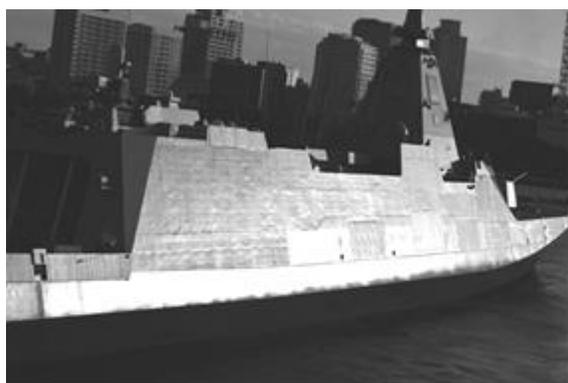
●おやしお型そうりゆう型に続く新型のミサイル潜水艦たいげい型1番艦「たいげい」昇降舵操作。



●「あたご」の出港。タグボートが随伴してまるでひとつの艦隊。背景はベイブリッジ。



●「くまの」艦尾の帽振れ。昔も今も変わらぬ出港風景。



●「くまの」の離岸。舷側が夕陽に照らされ新しい軍艦の姿を強調する。



●「くさき」に搭載されている水陸両用車 AAV7。無限軌道車だが勿論水の上に浮かぶ。

次回の観艦式は2025年である。相模湾を駆け巡る護衛艦群の姿をこの眼で見ることのできるのだろうか。その時はステルス艦の数が一段と増え「いずも」「かが」の甲板には

F35Bの姿が見られ、その発艦も行われるはずである。そして背景には変わらぬ霊峰富士の秀麗なシルエットを臨みたいものである。